



株主の皆様へ

第123期 第2四半期のご報告 | 平成23年3月1日から平成23年8月31日まで |



東宝株式会社

証券コード：9602

震災を通じて再認識した映画・演劇の力

Q 就任前には未曾有の東日本大震災があり、経営環境が激変しました。

3月11日を振り返りますと、当社の事業年度初めで春休みの看板作品「映画ドラえもん」封切から1週間目でした。被災地で映画興行が続けられないことや震災直後の演劇公演の中止のみならず、お客様の気持ちが映画・演劇から離れる事を最も危惧しました。実際は苦しい時こそ良質な娯楽をと、全国のお客様が映画館・演劇劇場に足を運んでくださいました。映画・演劇の底力、東宝を支えてくださるお客様への感謝、改めて我々ができる仕事を誠実に果たさなければとの思いを強くしました。現在も日本は復興過程、不自由な思いをされている方が数多くいらっしゃいます。復興が力強く進むことを願い、これからも多くの方々に「感動」をお届けすることで自らの使命を全うして行きたいと思っています。

Q 電力事情による影響は？

節電義務が15%と当初の予定より軽減され、お客様には極端なご不便をおかけせずにすみました。当第2四半期の業績面からも、震災の影響は当初に想定したよりも軽微でした。

映画・演劇・不動産を三本柱に

Q 改めて、東宝の基本戦略を教えてください。

創業以来、当社グループは「映画・演劇・不動産」事業を三本柱としてきました。この基本戦略については今後も継続し、変えるつもりは全くありません。

映画・演劇事業は、常に新商品をお出ししている様な



代表取締役社長
島谷 能成

本年5月に就任した島谷能成社長から、東日本大震災を経た当第2四半期の経営環境、これからの東宝についてお話しします。

ものであり、時代のニーズへの臨機応変かつ機敏な対応力が必要です。一方、不動産事業は中長期的な視点が不可欠です。創業者の小林一三翁は全国の一等地に映画館を創りました。我々の不動産事業はその立地条件の良さ

に甘んじることなく、時代ごとに最適に資産を活用し、シネコン、演劇劇場、ホテル、商業ビル等への再開発に取り組み、安定収益を確保してきました。結果的に当社グループは「映画・演劇・不動産」事業が異業種ながら連携し互いに補いあい、安定成長を実現してきました。

Q 懸案であった新宿地区の再開発も決定しました。

本年7月に、新宿区歌舞伎町の新宿東宝ビル開発計画を発表しました。敷地面積1,690坪、地上31階建てビルで、TOHOシネマズ(12スクリーン、約2,500席)、藤田観光(株)様によるホテル(約1,030室)等を備え、2015年春に竣工予定です。近年最大の課題であった再開発計画の正式スタートは、当該部門スタッフの努力の積み重ねの結果であり、私自身もほっとしています。新宿コマ劇場・新宿東宝会館の跡地である新宿地区は我々にも思い入れのある場所です。新宿東宝ビルの完成によって、歌舞伎町が新たな娯楽の熱源地になればと考えています。

Q 長年、映画調整部での仕事に携わってこれましたが、シネコン導入から約20年、映画業界はどのように変化してきたのでしょうか？

1993年に始まったシネマコンプレックス型映画館は日本の映画界を大きく変えました。年々スクリーン数が増加し、ハリウッド映画だけでなく多彩な邦画作品を上映できる場が増え、結果的に新しい才能が映画業界に集まりました。観客も今までにない邦画の魅力と出会い、確実に映画マーケットは拡大したといえます。才能、情報、能力を持った社外の創り手と接することで、我々スタッフも大いに刺激を受け、映画「世界の中心で、愛をさけぶ」や、昨年の大ヒット映画「悪人」「告白」をはじめとする数々の自社作品を成功に導くことができました。

Q シネコンは急激な増加で飽和状態ともいわれていますが？

我々の目標はスクリーン数を単純に増やすことではなく、今の時代のお客様に一番便利な場所、便利な時間に良いサービスで見たい映画をご覧くださいことです。これからも増減含めて市場調整が続くと思います。全てはお客様ありきです。例えばTOHOシネマズでは本年10月からシネコン全館をデジタル化(デジタル映像の映写が可能)しました。スポーツやライブ映像も上映可能となり、

シネマコンプレックスではなく映像コンプレックスの時代に適応した映画館となります。これもまた、今のお客様が求めることを追求した変化の一つです。

一歩ずつ強くなる、成長を続ける

Q 仕事における「朗らかに、清く正しく美しく」の大切さとは？

私は今後も映画・演劇界には多くの才能が登場すると確信しています。大切な作品を託していただくには東宝というブランドへの信頼感が不可欠です。企画、配給、興行、全てに嘘偽りのないビジネスをする、きちんとした作品を世に送り出す会社という信頼感です。我々には、社内外での信頼関係、風通しの良さ、「朗らか」なコミュニケーションがとても重要です。「清く正しく美しく」仕事をすると速度が落ちる気がしますが、結局は成功の早道だと私は東宝で学びました。近年、CSR(企業の社会的責任)が企業経営のテーマの一つですが、当社は早くから「東宝憲章」「東宝人行動基準」を定めるなど、企業倫理への意識は比較的高いのではないかと考えております。

Q 株主、投資家へのメッセージをお願いします。

「東宝は少しずつアップトレンド(成長)する会社」、当社の松岡功名誉会長の言葉です。急成長を目指すというより、地力をつけながら一歩ずつ強くなる会社という意味だと思います。もう一つ、私が個人的に好きな言葉に「企画」があります。「企」は爪先立って先を見る、「画」は具体化することです。現在、日本の政治経済の見通しは不透明と言わざるを得ません。しかし従業員一同、時代の少し先を見据えながら「お客様のために」を原点に日々の仕事を「企画」する、それによって東宝は今後も一歩ずつ着実に前進してまいる所存です。株主の皆様には、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



▶▶ トップインタビュー

「すべては、お客さまのために」を原点に。

一歩ずつ着実に成長を重ねます。

営業の概況

当第2四半期における我が国経済は、企業業績や個人消費に漸く改善の傾向がみられましたが、3月に発生した東日本大震災の甚大な打撃を受け、円高や電力事情の制約の影響もあり、大変厳しい状況で推移いたしました。

映画業界におきましては、震災後の消費自粛ムードに加え、例年に比べメガヒットといえる作品が少なく、ここ数年を下回る水準で推移しております。

このような情勢下にあって当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主力の映画事業のうち配給部門において夏作品を中心に各作品が堅調に稼働いたしました

が、営業収入は942億4千4百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業利益は97億7千9百万円（同29.8%減）、経常利益は102億7千2百万円（同28.8%減）、四半期純利益は37億5千3百万円（同48.0%減）となりました。

以下各事業部門別にご報告申し上げます。

■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業のうち製作部門では、表1の①記載の劇場用映画を共同製作したほか、当社において連続テレビドラマ「最上の名医」「ジウ 警視庁特殊班捜査係」、単発ドラマ「森村誠一の棟居刑事 背徳の詩集」ほかを制作いたしました。配給部門では、当社において表1の①及び②に記載の17番組18本を提供し、東宝東和(株)において「アジャストメント」等4本を配給いたしました。その結果映画営業事業収入は171億7千8百万円（前年同四半期比24.8%減）となりました。

表1. 当第2四半期連結累計期間中の提供映画作品

① 共同製作・配給作品	
SP THE MOTION PICTURE 革命篇	名探偵コナン 沈黙の15分
GANTZ PERFECT ANSWER	岳・ガク
プリンセス トヨトミ	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら
星守る犬	アングラシア 女神の報復
コクリコ坂から	ロック 〜わんこの島〜
神様のカルテ	
② ①以外の当社配給作品	
映画ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団 〜はばたけ 天使たち〜	
映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ 黄金のスパイ大作戦	
阪急電車 片道15分の奇跡	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと白き英雄レシラム	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム	
劇場版NARUTO-ナルト- ブラッド・プリズン 炎の中忍試験！ナルトVS木ノ葉丸!!	

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において前記各作品のほかに、「ナルニア国物語 第3章」「パイレーツ・オブ・カリビアン/生命の泉」「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2」「トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は298億4千3百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。また、当社グループの当第2四半期連結累計期間中の劇場異動は表2のとおりとなり、東宝系興行網の再構築を進展させました。

表2. 当第2四半期連結累計期間中の劇場異動

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
3月13日	グランパーク東宝8	△8	甲府市	TOHOシネマズ(株)	閉館
3月17日	TOHOシネマズ甲府	9	甲府市	TOHOシネマズ(株)	オープン
4月21日	TOHOシネマズ上田	8	上田市	TOHOシネマズ(株)	オープン
5月4日	大阪ステーションシティシネマ	12	大阪市	SMT・TOHOシネマズ・ティ・ジョイ共同経営	オープン
5月20日	TOHOシネマズなんば・別館	(3)	大阪市	TOHOシネマズ(株)	リニューアル
7月15日	TOHOシネマズ渋谷	(4)	渋谷区	TOHOシネマズ(株)	リニューアル
8月31日	広島宝塚	△3	広島市	関西共栄興行(株)	閉館

新規オープンした劇場は順調に稼働、当社グループのスクリーン数は18スクリーン増の合計606スクリーン（共同経営56を含む）となりました。新興行管理システムをバージョンアップし、新規開発の自動券売機導入を開始、さらにインターネット販売チケット購入の決済手段の増加、インターネットでのチケット購入手続を簡素化するサービス（vit-ID）の導入により利便性を向上いたしました。3D方式については、新システムに変更し改善する一方、デジタルシネマ機器の設置を加速、ストレスのない鮮明な映像の提供とオペレーションの効率化を促進し、AKB48等のライブ公演をリアルタイムに楽しめるODSによる新規顧客の獲得に努めました。

映像事業のうち映像ソフト事業は、当社において表3ほかの提供を行いました。

出版・商品事業は、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「映画 ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団 〜はばたけ 天使たち〜」「名探偵コナン 沈黙の15分」「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム/ビクティニと白き英雄レシラム」「コクリコ坂から」をはじめとする当社配給作品が、洋画では「塔の上のラプンツェル」「トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン」「カーズ2」等が順調に稼働いたしました。映像ソフト制作事業は、製作作品TVアニメ「はなかわ」の2年目の放送を、3月よりNHK教育テレビにて開始いたしました。またODSの配給事業として「きかんしゃトーマス ミスティアイランド レスキュー大作戦!!」をはじめ5作品を提供いたしました。さらに「東宝怪獣キャラクター」等の商品化収入に加え、製作出資いたしました「名探偵コナン 沈黙の15分」「GANTZ PERFECT ANSWER」の配分金収入がありました。

表3. 当社において当第2四半期連結累計期間中に提供した主なビデオ作品

作品・商品名	レンタル用 DVD/Blu-ray (リリース日)	販売用 DVD/Blu-ray (発売日)
悪人	3月4日	3月18日
キック・アス	—	3月18日
まんが日本昔ばなし 第1集・第2集	8月5日(第1集)	4月1日
美男<イケメン>ですね デラックス版 Blu-ray BOX	—	4月22日
トキメキ☆成均館スキャンダル DVD-BOX	—	4月22日
DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろう?	5月13日	4月22日
フラクタル	5月13日	4月22日
十三人の刺客	5月13日	5月27日
劇場版 チェブラーシカ	6月10日	6月24日
劇場版 くまのがっこう 〜ジャッキーとケイティ〜	6月10日	6月24日
SPACE BATTLESHIP ヤマト	6月24日	—
めらりひよんの孫 Blu-ray BOX	—	6月24日
GANTZ	7月13日	—
まんが日本昔ばなし 第3集・第4集	—	8月2日
あしたのジョー	8月5日	8月19日
映画 ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団 〜はばたけ 天使たち〜	8月5日	—
マジすか学園2 DVD-BOX	—	8月19日

また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社で、コスト削減に努めながら映画・演劇等の美術、イベントその他の事業の受注増を図りました結果、映像事業収入は130億9千5百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

以上の結果、映画事業収入は601億1千7百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

■ 演劇事業

演劇事業では、3月は東日本大震災の影響により、帝国劇場におきまして、「Endless SHOCK」の28公演が中止となり、シアタークリエにおきましては「ウェディング・シンガー」が5公演中止となりました。4月以降の帝国劇場は、6月迄の3か月間、ロンドンオリジナル演出版とし



■ 「プリンセス トヨトミ」
©2011 フジテレビジョン 関西テレビ放送 東宝



■ 「星守る犬」
©2011 「星守る犬」製作委員会



■ 「ジウ 警視庁特殊班捜査係」
©テレビ朝日・東宝



■ 「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2」
© 2011 Warner Bros. Ent.
Harry Potter Publishing Rights ©J.K.R.
Harry Potter characters, names and related indicia are trademarks of and ©Warner Bros. Ent. All Rights Reserved.



■ 「悪人」
Blu-ray発売中
¥6,930 (税別) 発売元：アミューズソフト 販売元：東宝
©2010 「悪人」製作委員会



■ 「DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろう? スペシャル・エディション」
DVD発売中 ¥5,040 (税別)
発売元：「DOCUMENTARY of AKB48」製作委員会 販売元：東宝
©「DOCUMENTARY of AKB48」製作委員会

ては最後の公演となる「レ・ミゼラブル」が大ヒットとなりました。また6・7月「風と共に去りぬ」が帝国劇場開場100周年にふさわしく連日大盛況となり、7・8月「三銃士」も評判を呼び大入りとなりました。シアタークリエにおきましては、4月公演「CLUB SEVEN 7th stage!」「アンダーグラウンド・パレード」が大入りとなり、5月はA.B.C-Zプロデュース・出演による「みんなクリエに来てクリエ」が完売の盛況となりました。6月「風を結んで」、6・7月「姉妹たちの庭で」の各公演も高い舞台成果をあげました。他劇場では、4月には「ウェディング・シンガー」日本青年館凱旋公演が、また6月の品川ステラボール「ドラマティカ/ロマンティカ W」公演がどちらも満席の好成績となりました。また、社外の公演に関しましては、震災の影響があったものの、部門収益に寄与をいたしました。一方、東宝芸能㈱では厳しい状況下において、主要俳優がCM、ドラマ等で稼働して営業利益が伸びたものの、㈱コマ・スタジオでは団体動員の落ち込みにより制作公演の興行が苦戦いたしました。

この結果、演劇事業収入は57億1千9百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

■ **不動産事業**（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）
不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、3月末に東京都世田谷区に「コモレビ大蔵」（賃貸集合住宅）が竣工し、業績に寄与いたしました。また、7月には、現在、解体工事が進行中の東京都新宿区の「旧新宿コマ劇場及び旧新宿東宝会館」跡地について「新宿東宝ビル開発計画」を発表いたしました。東宝スタジオでは敷地の有効利用をめざした商業開発にも着手しており、また昨年竣工した新ポストプロダクションセンターも順調に稼働しております。ステージレンタルでは震災の影響があったものの、「アングルシア 女神の報復」「宇宙兄弟」「麒麟の翼」など

当社配給作品を中心に11本の映画作品と、昨年を上回る80本のCMを誘致いたしました。また東宝不動産㈱では、新規賃貸物件の取得に努めるとともにビル諸設備の計画的な改修やテナントへのきめ細かな対応を図るなど、積極的な営業活動を推進いたしました。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社も営業努力を続けました。これらの結果、不動産賃貸事業収入は142億3千1百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

道路事業では、スバル興業㈱とその連結子会社が、公共事業費の削減の影響による一段と激しい企業間競争にさらされながら、道路の維持・清掃や補修工事の受注確保に努めましたが、道路事業収入は89億2千1百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理㈱、㈱東宝サービスセンターにおいて、同業他社との価格競争が続く厳しい経営環境の下受注増に努めましたが、不動産保守・管理事業収入は46億5千3百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

以上の結果、不動産事業収入は278億6百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

■ **その他事業**
娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業㈱において施設のリニューアル工事が完了し「東宝調布スポーツパーク」としてスタートし、その他事業収入は6億1百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。



■ 帝国劇場「レ・ミゼラブル」



■ シアタークリエ「CLUB SEVEN 7th Stage!」



■ コモレビ大蔵

通期の見通し

今後の我が国経済は、円高の進行が企業業績へ悪影響を及ぼし、震災の復興の遅れ等による景気の先行きの不透明感が強まっております。

映画界におきましては、全国のスクリン数も増加の傾向に歯止めが掛かり、業界を取り巻く環境の変化が現れ始めており、この変革期を乗り切るための新しい視点でのコンテンツ制作や、顧客サービスの充実に努めてまいります。

そのようななか、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,830億円（前期比8.0%減）、営業利益160億円（前期比28.6%減）、経常利益170億円（前期比26.7%減）、当期純利益は100億円（前期比12.3%減）をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し（8月末現在）をご説明申し上げます。

■ **映画事業**（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）
映画営業事業のうち製作部門では、表4に記載の作品のほか、「宇宙兄弟」「僕等がいた」を共同製作し、当社において連続テレビドラマ「ジウ 警視庁特殊班捜査係」ほかを制作いたします。また、配給部門では、当社において表4記載の作品を提供する予定をいたしております。



■ 「モテキ」
©2011映画「モテキ」製作委員会



■ 「friends もののけ島のナキ」
©2011「friends もののけ島のナキ」製作委員会



■ 「日本列島 いきものたちの物語」
©2012映画「日本列島」製作委員会

劇場のデジタル化は、今秋全てのシネコンにて完了、オペレーション・コストの低減を図ります。

映像事業のうち映像ソフト事業は、レンタル及びセル用作品として「ダンシング・チャップリン」「ぬりひよんの孫 ～千年魔京～」「岳 -ガク-」「ジュリエットからの手紙」「うさぎドロップ」「星守る犬」「まんが日本昔ばなし 第5集・第6集」等を提供し、他にレンタル用作品として「名探偵コナン 沈黙の15分」「GANTZ PERFECT ANSWER」を、セル用作品として「伊丹十三 FILM COLLECTION Blu-ray BOX」「次郎長三国志DVD-BOX」「チョコレート・ソルジャー」「モンスターズ 地球外生命体」を発売、バラエティに富んだ作品群を提供いたします。出版・商品事業は「ステキな金縛り」「カイジ2 人生奪回ゲーム」「映画 怪物くん」「源氏物語 千年の謎」「ALWAYS 三丁目の夕日'64」「ミッション：インポッシブル/ゴースト・プロトコル」に加え、発売60年目となる「東宝カレンダー2012年版」を中心に展開いたします。映像ソフト制作事業は、ODS配給のラインアップを充実させるとともに、商品化権ビジネスに注力いたします。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社で、コスト削減等の営業努力を続けながら、各種事業のさらなる受注を得るよう図ってまいります。映像事業収入は222億円（前期比6.3%減）を見込んでおります。

以上の結果、映画事業収入は1,140億円（前期比11.2%減）を見込んでおります。

■ 演劇事業

演劇事業では、帝国劇場は9月に亀梨和也主演「DREAM BOYS」、10月は初演以来45年間愛されてきた不朽の名作「細雪」、11月はヨーロッパ各地で大ヒットとなった日本初上陸のミュージカル・コメディ「ニューヨークに行きたい!!」、帝国劇場開場100周年の最後を飾る12月には、新キャストを迎えて贈る大ヒットミュージカル「ダンス・オブ・ヴァンパイア」。そして1月滝沢秀明主演「新春 滝沢革命」、2月堂本光一主演「Endless SHOCK」を上演いたします。シアタークリエでは9月に東京セレソンデラックスとの共催公演「わらいのまち」、10月は大ヒットドラマの舞台化「ゲゲゲの女房」を上演いたします。10・11月は、大竹しのぶ主演の「ピアフ」、11月は、竹中直人と生瀬勝久が初めて組んで繰り出すシニカル・コメディ「ヴィラ・グランデ 青山」、12月はフランク・ワイルドホーンの華麗で荘大な旋律で贈るミュージカル「GOLD ～カミューとロダン～」、1月は日本のオリジナルミュージカルの歴史を変えた名作中の名作「アイ・ガット・マーマン」、2月は日本初演となるロック・オペラ「ハムレット」を井上芳雄主演で上演いたします。日生劇場では1月に鹿賀丈史・市村正親のゴールデンコンビによる傑作ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォーール」。また社外公演では「三銃士」「ゲゲゲの女房」「細雪」「ピアフ」等を上演し、東宝演劇公演を積極的に全国へと展開いたします。

これらの結果、演劇事業収入は123億円（前期比9.2%減）を見込んでおります。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、9月に「京都東宝公衆ビル」（「ロイヤルパークホテル ザ京都」）が竣工いたします。また、「広島宝塚会館」の再開発の着手を始め、全国に所有する土地・建物等の検証を行い、長期的な視野で改修や新規開発を順次実施してまいります。東宝スタジオでは、10月下旬にスーパー「サミット」がオープンする予定で、これで商業開発も含めたスタジオ改造計画が全て完了いたします。当期に関しては震災と長引く景気低迷の影響で映画製作現場を取り巻く環境は依然厳しく、先行き不透明ではありますが、引き続き当社配給作品を中心に積極的な営業活動を展開し製作現場の期待に応えてまいります。また東宝不動産(株)においては、立地・環境・収益性等に優れた新規賃貸物件の取得に努めるとともに積極的な営業活動により業績の向上を図ります。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けてまいります。これらの結果、不動産賃貸事業収入は287億円（前期比1.8%増）を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社において、公共事業の縮減、同業他社間の価格競争の激化等、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。この結果、道路事業収入は174億円（前期比2.5%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)及び(株)東宝サービスセンターにおいて、新規受注の拡大、コスト削減

を図るとともに、高付加価値サービスを提供できる体制作りを進めてまいります。不動産保守・管理事業収入は95億円（前期比4.8%減）を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業収入は556億円（前期比0.7%減）を見込んでおります。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業(株)の「東宝調布スポーツパーク」や(株)東宝エンタープライズの「東宝ダンスホール」等において、業績回復に向けて営業努力を続け、その他事業収入は11億円（前期比0.8%増）を見込んでおります。

（注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。）



■ 「タンタンの冒険/ユニコーン号の秘密」
©2011 Paramount Pictures. All Rights Reserved.



■ 「岳 -ガク-」 通常版
11月25日Blu-ray発売 ¥4,935（税込）
発売元：小学館・テレビ朝日 販売元：東宝
©2005 石塚真一/小学館 ©2011 「岳 -ガク-」製作委員会



■ ODS配給作品「監督失格」
©「監督失格」製作委員会



■ 帝国劇場「ニューヨークに行きたい!!」



■ シアタークリエ「GOLD ～カミューとロダン～」



■ 京都東宝公衆ビル

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期連結会計期間末	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表
	平成23年8月31日	平成23年2月28日
資産の部		
流動資産	79,518	78,544
現金及び預金	11,600	9,470
受取手形及び売掛金	14,494	14,741
有価証券	5,262	4,996
たな卸資産	5,111	4,789
その他	43,270	44,766
貸倒引当金	△220	△219
固定資産	247,017	250,659
有形固定資産	162,993	158,528
1 建物及び構築物（純額）	96,499	92,321
土地	55,859	55,498
建設仮勘定	3,392	4,406
その他（純額）	7,242	6,302
無形固定資産	8,150	8,312
のれん	5,421	5,656
その他	2,729	2,655
投資その他の資産	75,872	83,818
2 投資有価証券	51,681	61,507
その他	25,047	23,136
貸倒引当金	△856	△824
資産合計	326,536	329,204

1 建物及び構築物

「コモレビ大蔵」オープンのほか、「資産除去債務に関する会計基準」等の適用により、当社及び連結子会社の資産が増加しております。

2 投資有価証券

保有する投資有価証券の評価額が減少したことによるものです。

(単位：百万円)

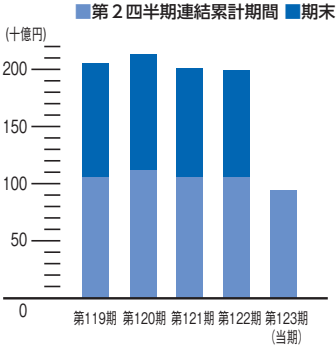
科目	当第2四半期連結会計期間末	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表
	平成23年8月31日	平成23年2月28日
負債の部		
流動負債	44,259	42,269
買掛金	14,428	11,886
短期借入金	116	115
1年内返済予定の長期借入金	1,135	615
未払法人税等	2,791	6,523
賞与引当金	896	864
固定資産除去損失引当金	2,753	3,537
その他の引当金	650	669
資産除去債務	775	—
その他	20,712	18,058
固定負債	51,426	51,279
社債	10,000	10,000
長期借入金	90	610
退職給付引当金	3,151	3,066
役員退職慰労引当金	287	372
その他の引当金	802	780
資産除去債務	5,834	—
その他	31,259	36,449
負債合計	95,685	93,549
純資産の部		
株主資本	203,740	203,615
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	13,837	13,837
利益剰余金	184,050	183,100
自己株式	△4,503	△3,678
評価・換算差額等	5,906	11,021
其他有価証券評価差額金	5,014	10,129
土地再評価差額金	891	891
少数株主持分	21,203	21,018
純資産合計	230,850	235,655
負債純資産合計	326,536	329,204

四半期連結損益計算書

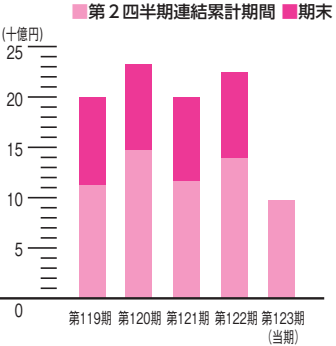
(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
	平成23年3月 1 日から 平成23年8月31日まで
営業収入	94,244
営業原価	58,536
売上総利益	35,707
販売費及び一般管理費	25,928
人件費	8,598
広告宣伝費	3,366
賞与引当金繰入額	672
役員退職慰労引当金繰入額	21
借地借家料	3,729
その他	9,540
営業利益	9,779
営業外収益	642
受取利息	44
受取配当金	456
持分法による投資利益	46
貸倒引当金戻入額	10
その他	84
営業外費用	148
支払利息	85
為替差損	42
その他	20
経常利益	10,272
特別利益	599
投資有価証券売却益	489
保険解約返戻金	15
その他	94
特別損失	4,117
減損損失	96
固定資産除却損	16
投資有価証券評価損	164
立退補償金	60
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,042
災害による損失	568
その他	168
税金等調整前四半期純利益	6,755
法人税、住民税及び事業税	3,234
法人税等調整額	△405
法人税等合計	2,828
少数株主損益調整前四半期純利益	3,926
少数株主利益	173
四半期純利益	3,753

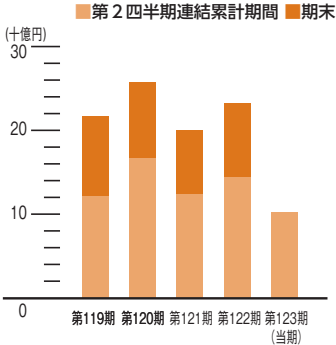
●営業収入



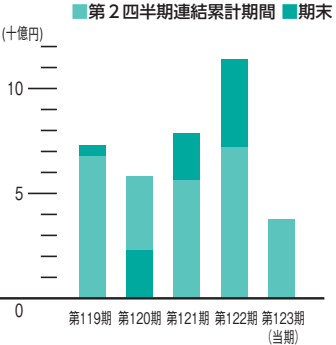
●営業利益



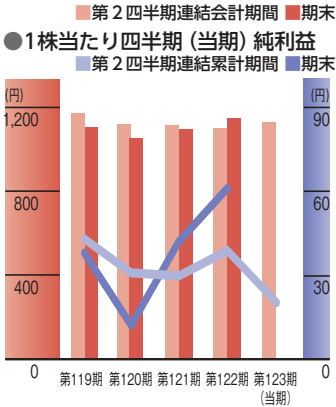
●経常利益



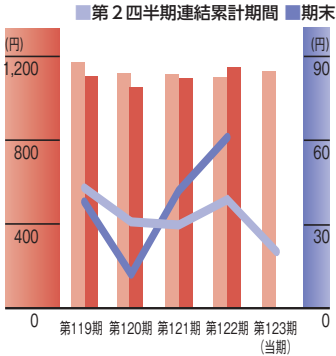
●四半期（当期）純利益



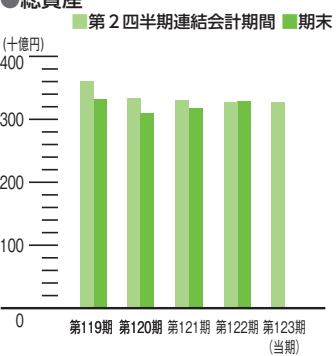
●1株当たり純資産



●1株当たり四半期（当期）純利益



●総資産

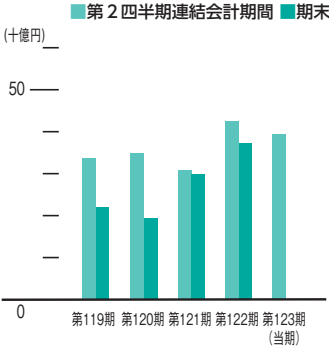


四半期連結キャッシュ・フロー計算書

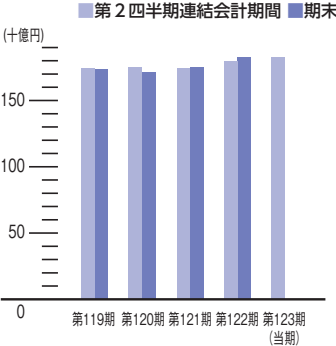
(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
	平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,284
現金及び現金同等物の期首残高	37,220
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,504

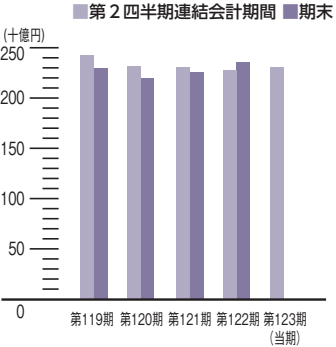
●現金及び現金同等物の残高



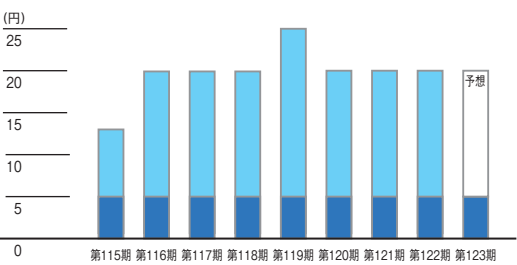
●利益剰余金残高



●純資産



1株当たり配当金の推移



中間配当金について

中間配当金につきましては、既にご案内のとおり、1株5円と決定させていただきました。
下半期も引続き一層の経営の充実をはかり、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
中間配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の中間配当金領収証により、払渡期間（平成23年11月4日～平成23年12月5日）中に、ゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。（同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口にお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。）
また、口座振込をご指定の方は同封の「中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

通期の配当予想について

上半期の業績に通期業績予想を加味し、期末の配当金は、普通配当5円に加え、特別配当10円の計15円、中間配当金と合わせまして年間配当計20円を予想いたしております。

映画製作・配給

(株)東宝映画…………… 映画の製作
東宝東和(株)…………… 洋画の輸入・配給
(株)東京現像所…………… フィルムの現像、CG・デジタル合成などの処理

映画興行

TOHOシネマズ(株)…………… TOHOシネマズ日劇・TOHOシネマズ六本木ヒルズ・TOHOシネマズ梅田などの映画館経営
北海道東宝(株)…………… 恵庭東宝シネマ8の経営
関西共栄興行(株)…………… 松江SATY東宝・米子駅前SATY東宝の経営

映像の製作・販売

東宝ミュージック(株)…………… 映画・ミュージカルなどの音楽製作、音楽原盤・著作権の管理
(株)東宝映像美術…………… 映画・テレビ・CMなどの美術製作、テーマパーク・イベントの企画・デザイン・施工
(株)東宝コスチューム…………… 映画・テレビ・イベント・テーマパークなどの衣裳の製作・レンタル
東宝舞台(株)…………… 演劇・テレビなどの舞台美術・小道具・衣裳の製作
東宝アド(株)…………… テレビ・新聞・雑誌など広告媒体の取扱代理業、映像・ポスターなど各種宣伝広告物の企画・デザイン・制作
(株)東宝ステラ…………… 東宝作品のビデオ・パンフレット・キャラクター商品などの流通・販売、映画原版・プリントの管理

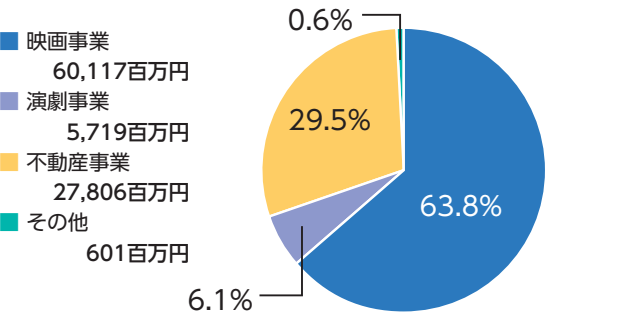
演劇事業

東宝芸能(株)…………… 映画・演劇・テレビなどへの俳優の斡旋、演劇の企画・製作、イベントの企画・製作
(株)東宝エージェンシー…………… 演劇公演の団体入場券の斡旋・販売
(株)コマ・スタジアム…………… 演劇の制作、ビルの賃貸

不動産の賃貸等

国際放映(株)…………… スタジオのレンタル、テレビ番組の企画・制作
三和興行(株)…………… 新宿三丁目東宝ビル・新宿文化ビルの賃貸
東宝不動産(株)…………… 東宝ツインタワービル・帝劇ビルなど不動産の賃貸、劇場内売店の経営、飲食店の経営、保険代理業、介護事業
萬活土地起業(株)…………… 長崎・熊本・鹿児島におけるビルの賃貸

●当第2四半期連結累計期間事業部門別営業収入比率



道路事業

スバル興業(株)…………… 道路の維持清掃及び補修工事、飲食店の経営、有楽町スバル座の経営

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター…………… ビルの管理・清掃・警備（東京・仙台・北海道など）
東宝ビル管理(株)…………… ビルの管理・清掃・警備（近畿・中部・九州など）

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)…………… 東宝調布スポーツパークの経営
(株)東宝エンタープライズ…………… 東宝ダンスホールの経営
東宝フーズ(株)…………… ベーカリーショップの経営、劇場コンセッション用及び一般食材等の販売

持分法適用会社

オーエス(株)…………… OSシネマズミント神戸などの映画館経営、OSビルなど不動産の賃貸、梅田OSホテルの経営
(株)東京楽天地…………… 錦糸町楽天地ビルの賃貸、TOHOシネマズ錦糸町など映画館の経営、ボウリング場・サウナなどの経営
成旺印刷(株)…………… パンフレット・ポスター・チラシなど、各種印刷物の製作

（上記を含めて合計 連結子会社38社、持分法適用会社5社）

Investor Information

株式情報 (平成23年8月31日現在)

株式の状況

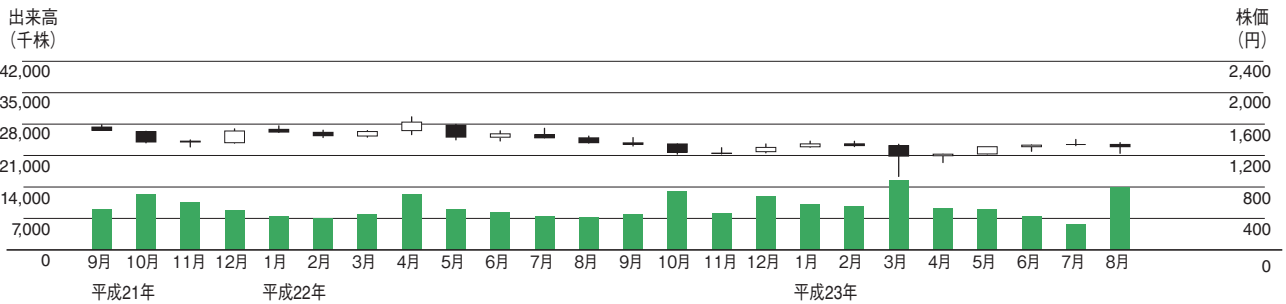
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	188,990,633株 (自己株式2,793,092株を含む)
株主数	31,423名 (前期末比1,089名減)

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.24
阪急不動産株式会社	15,150	8.13
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	13,664	7.33
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.65
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	4,674	2.51
株式会社TBSテレビ	4,521	2.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	4,042	2.17
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	3,919	2.10
株式会社電通	3,779	2.03
株式会社丸井グループ	3,223	1.73

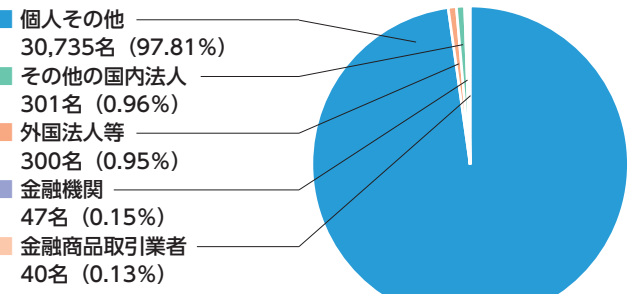
(注) 持株比率は、自己株式2,793,092株を控除して計算しております。

株価・出来高の推移

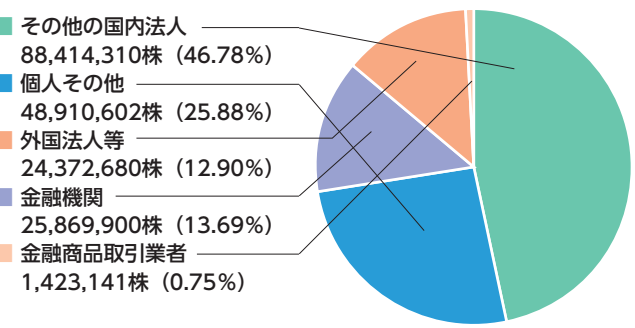


所有者区分別株式分布状況

株主数



株式数



Corporate Data

会社概要

会社概要 (平成23年8月31日現在)

会社名	東宝株式会社
設立	昭和7年8月12日
資本金	10,355,847,788円
従業員数	381名 但し、嘱託13名、出向受入者29名を含み、 出向者111名を含みません。
本社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
支社	関西 (大阪)
スタジオ	東京 世田谷 (成城)
演劇直営劇場	本社直轄2劇場(帝国劇場、シアタークリエ)
その他の営業所 (主な賃貸ビル)	有楽町センタービル (通称有楽町マリオン) 東宝日比谷ビル (通称日比谷シャンテ) 東京宝塚ビル 東宝シアタークリエビル HEPナビオ 東宝南街ビル
主な事業内容	映画
映画	映画の製作、売買及び賃貸借、 テレビ放送番組等の制作及び販売、 映画のパンフレット及びビデオソフトの製 作並びに販売、商品化権に関する事業、 その他
演劇	演劇の企画、製作及び興行
不動産経営	土地・建物の賃貸借、その他

役員 (平成23年10月1日現在)

代表取締役 取締役社長	島谷 能成	映像本部長兼経営企画担当 内部監査室直轄
代表取締役 取締役副社長	千田 諭	映像本部映画営業、同宣伝、 同国際各担当
専務取締役	中川 敬	不動産経営、スタジオ各担当 TOHOシネマズ株式会社 代表取締役社長
専務取締役	増田 憲義	演劇担当
専務取締役	高橋 昌治	人事、総務各担当 兼経営企画担当補佐
常務取締役	浦井 敏之	経理財務、情報システム各担当 兼特定取締役
取締役	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取締役	大隈 廣	株式会社コマ・スタジアム 代表取締役社長
取締役	石塚 泰	人事担当補佐
取締役	太古 伸幸	経営企画部長
取締役	新坂 純一	映像本部映像事業担当
取締役	山下 誠	不動産経営部長
取締役	市川 南	映像本部映画調整、 同映画企画各担当兼同映画調整部長
常勤監査役	村上 主税	監査役会議長兼特定監査役
常勤監査役	沖本 友保	
監査役	大西昭一郎	弁護士
監査役	小林 節	株式会社パレスホテル 代表取締役社長

株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日
定時株主総会 5月中
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
基準日 定時株主総会 2月末日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
臨時に基準日を定める。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）
※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は
電話 0120-244-479（通話料無料）
インターネットホームページ
http://www.tr.mufg.jp/daikou/
http://www.toho.co.jp/toho_ir/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電
子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載す
る方法によって公告いたします。

表紙のご紹介

本年7月に発表いたしました東京都新宿区「新宿東宝ビル開発計画」。
2015年春にはホテル（9～31階部分）映画館（3～6階部分）を含め
た地上31階、地下1階の新しい歌舞伎町のランドマークが誕生いたし
ます。ご期待ください！

〒100-8415
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
東宝株式会社
総務部 電話 (03) 3591-1214
http://www.toho.co.jp

株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行 シート数（半年につき）（※）
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000～1,999株	1 枚	0枚	1シート
2,000～2,999株			2シート
3,000～4,999株			3シート
5,000～9,999株		1枚	6シート
10,000～19,999株		2枚	10シート
20,000～29,999株		3枚	15シート
30,000～49,999株			20シート
50,000～99,999株			25シート
100,000株以上			30シート

- 株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等
でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いた
だけます。
- 株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となり
ます。
- 1シートは、指定2ヶ月間通用券×6枚となります。
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：6・7月、8・9月、10・11月通用各2枚。
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：12・1月、2・3月、4・5月通用各2枚。

株主映画ご優待券交付基準（800円で映画をご覧ください）

100～499株	半年 2枚	500～999株	半年 8枚
----------	-------	----------	-------

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。
8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」「株主優待」を
ご覧ください。



適切に管理された森林資源を用紙
の材料にしています。



VOC（揮発性有機
化合物）の発生の
少ない、ベジタブル
インクを使用して
います。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。